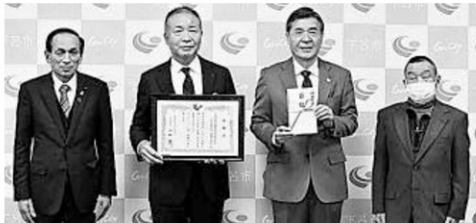


JA岐阜信連
棚田保全応援

下呂市に20万円寄付

県信用農業協同組合連合会(JA岐阜信連)は、下呂市乗政の三ツ石棚田の保全活動を応援しようと、企業版ふるさと納税を活用して市に20万円を寄付した。25日に市役所でJA岐阜信連の渡邊茂典代表理事理事長が山内登市長に目録を手渡した。

JA岐阜信連は、棚田の



山内登市長に目録を手渡した渡邊茂典代表理事理事長(左から2人目)=下呂市役所

米の生産だけでなく、自然環境保全の役割に着目し、国連が示す持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

組みの一環として、保全活動支援を行っている。昨年から恵那市の坂折棚田でオーナー制度を活用した支援を始めたのに続き、棚田への支援を広げようと、所在地の市町村への企業版ふるさと納税を行っている。寄付は同市と飛騨市に続き3市目。下呂市への寄付は、三ツ石棚田に案内看板を設置するのに活用する。

渡邊代表理事理事長は、支援に向けた経緯を説明し「有効に活用してほしい」と述べた。山内市長は「棚田保全への協力は心強い」と感謝を述べた。三ツ石棚田協議会の中島巳代治会長は「棚田を今後に引き継いでいくための看板にした」と話した。看板は棚田の四季を交え紹介するもので、本年度中に設置される予定。
(広瀬丈士)